

平成 24 年度各実証技術分野の進捗状況

平成 24 年度各実証技術分野（建材試験センター担当分）の進捗状況を表 1 に示す。

表 1 平成 24 年度各実証技術分野の進捗状況

分野項目	地球温暖化対策技術分野 (照明用エネルギー低減技術(反射板・拡散板等))	ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷低減等技術)
実証試験の実施状況	<p>件数：8 件</p> <p>概要： 高反射性内装材〔鋼板〕(1 件)、透過光高拡散性塗料〔照明カバー用〕(1 件) 及び高効率照明器具(6 件) について、実証試験を実施しているところ。 今後、実証試験結果報告書を作成する予定。</p>	<p>件数：5 4 件 (応募は 5 5 件。1 件は審査中止)</p> <p>概要： 窓用後付技術 28 件、 屋根・屋上用後付技術 25 件、その他(新しい種類の技術) 1 件について実証試験を実施している。 今後、実証試験結果報告書を作成する予定。</p>
技術実証検討会等の開催状況	<p>○ 技術実証検討会 (第 1 回 2012. 8. 29) 実証試験要領の見直し等についての検討 (第 2 回 2012. 2. 12) 実証試験結果報告書等についての検討(予定)</p> <p>○ 技術実証検討会分科会 (第 1 回 2012. 11. 6) 実証対象技術の選定等について検討 (第 2 回 2012. 12. 12) 実証試験計画書、次年度実証対象技術等について検討</p>	<p>○ 技術実証検討会 (第 1 回 2012. 5. 15) 実証試験要領の見直し等についての検討 (第 2 回 2013. 3. 5) 実証試験結果報告書等についての検討(予定)</p> <p>○ 技術実証検討会分科会 (第 1 回 2012. 8. 3) 実証対象技術の選定等についての検討 (第 2 回 2012. 10. 23) 実証試験計画書についての検討 (第 3 回 2012. 12. 10) 実証試験の進捗状況報告、実証試験結果(途中) についての検討</p>
技術分野独自の PR 等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012. 10. 10 実証対象技術の公募説明会(①建材試験センター日本橋オフィス)を開催し、13 名の方の来場があった。</li> <li>2012. 10. 11～10. 31 公募説明会の参加者に対して、当技術分野に対する御意見等の募集を行った。現在対象としていない技術のうち、トップライト用建具及び光ダクト等を、実証対象技術に追加してほしいとの要望があった。</li> <li>2012. 11. 14～16 Japan Home &amp; Building Show 2012 で、(一財) 建材試験センターとして、ブースを設け、環境技術実証事業の PR を実施した。なお、ガイダンス(11/14)にて、ETV 事業の紹介を行った(環境負荷低減技術の試験・調査研究： <a href="http://www.jtccm.or.jp/jtccm_seminar/_3829.html">http://www.jtccm.or.jp/jtccm_seminar/_3829.html</a>)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012. 6. 8～6. 11 東京都特別区(11 団体) で実施される補助金・助成金制度の担当者に対し、本事業の概要を電話にて案内した。また、上述のセミナーの案内を合わせて行った。</li> <li>2012. 7. 5 当技術分野に関するセミナー(①中央区立日本橋社会教育会館)を開催した。74 名の参加があった。</li> <li>2012. 9. 14 一般社団法人建築学会が主催する、2012 年日本建築学会大会(東海) 学術講演会において、本事業の成果の一部を発表した。</li> <li>2012. 11. 14～16 Japan Home &amp; Building Show 2012 で、(一財) 建材試験センターとして、ブースを設け、環境技術実証事業の PR を実施した。なお、ガイダンス(11/14)にて、ETV 事業の紹介を行った(環境負荷低減技術の試験・調査研究： <a href="http://www.jtccm.or.jp/jtccm_seminar/_3829.html">http://www.jtccm.or.jp/jtccm_seminar/_3829.html</a>)。</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012. 5. 18 一般社団法人住宅生産団体連合会の会員会社(パナソニック(株)エコソリューションズ社 小池氏、山根氏) に対して、環境技術の実証ニーズに係るヒアリングを実施した。</li> <li>2012. 6. 26 技術実証検討会を立ち上げるにあたり、本年度より大幅な体制変更があったため、同検討会開催のための準備会を開催した。 年間スケジュール概要および実証試験要領の見直し方針について、検討員および事務局で意見のすり合わせを行った。</li> <li>2013. 1. 22～2. 18 実証対象技術の種類を拡大させるべく、一般社団法人日本照明器具工業会に対して、要望のアンケート調査を開始した。2 月末までに回答を受け、3 月中に結果をまとめる予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012. 9. 13 大阪府地球環境課・柴田様、佐藤様に対し、環境行政に係るヒアリングを実施した。 大阪府内で実施されている施策について伺い、ETV との関係性を模索した。</li> <li>2012. 11. 13 韓国環境産業技術院(Korea Environmental Industry &amp; Technology Institute)・金氏の来日(日本の ETV 事業の視察)の際、当技術分野についての説明を行った。</li> <li>2013. 1. 11～2. 15 当技術分野の認知度を確認し、かつ、ロゴマークや実証試験結果報告書の存在を広報するため、社団法人日本建設業連合会および一般社団法人住宅生産団体連合会に対して、アンケート調査を開始した。2 月末までに回答を受け、3 月中に結果をまとめる予定。</li> <li>2013. 1. 22～2. 15 過去 6 年間に実証された技術の適切な普及を図るべく、(自然地域トイレし尿処理技術分野で作成されたデータベースを参考に) 活用事例等のデータを収集し、データベース作成の作業を開始した。</li> </ul>

注) 本資料は、平成 24 年度環境技術実証事業第 2 回実証運営委員会で配布された資料 2 を抜粋して編集したものである。下線部は追記。【JTCCM】